# 安全データシート

# 2-ヒドロキシ安息香酸ペンチル

改訂日：2024-01-24 版番号：1

## 1. 化学品及び会社情報

### 製品識別子

| | |
|---|---|
| 製品名 | : 2-ヒドロキシ安息香酸ペンチル |
| CB番号 | : CB5392492 |
| CAS | : 2050-08-0 |
| EINECS番号 | : 218-080-2 |

### 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

| | |
|---|---|
| 関連する特定用途 | : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。 |
| 推奨されない用途 | : なし |

### 会社ID

| | |
|---|---|
| 会社名 | ： Chemicalbook |
| 住所 | ： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟 |
| 電話 | ： 010-86108875 |

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1 GHS分類

急性毒性, 経口 (区分4), H302

水生環境有害性 短期（急性） (区分1), H400

水生環境有害性 長期（慢性） (区分1), H410

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

### 2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

**絵表示**

| | |
|---|---|
| GHS07 | GHS09 |

**注意喚起語**

警告

**危険有害性情報**

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

H302 飲み込むと有害。

**注意書き**

**安全対策**

P273 環境への放出を避けること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

**応急措置**

P391 漏出物を回収すること。

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

**廃棄**

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

| | |
|---|---|
| 化学物質・混合物の区別 | : 化学物質 |
| 化学特性(示性式、構造式 等） | : C12H16O3 |
| 分子量 | : 208.25 g/mol |
| CAS番号 | : 2050-08-0 |
| EC番号 | : 218-080-2 |
| 化審法官報公示番号 | : 3-1585 |
| 安衛法官報公示番号 | : - |

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

**一般的アドバイス**

この安全データシートを担当医に見せる。

**吸入した場合**

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

**皮膚に付着した場合**

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

**眼に入った場合**

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。 コンタクトレンズをはずす。

**飲み込んだ場合**

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

# 5. 火災時の措置

## 5.1 消火剤

**使ってはならない消火剤**

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

**適切な消火剤**

泡 二酸化炭素（CO2） 粉末

## 5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

可燃性。

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることがある。

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

## 5.3 消防士へのアドバイス

火災時には、自給式呼吸器を着用する。

## 5.4 詳細情報

消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

# 6. 漏出時の措置

## 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。 触れないようにすること。 十分な換気を確保する。 危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

## 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

## 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。 物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemizorb® )で処置すること。 正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

## 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

# 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

**保管クラス**

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 10: 可燃性液体

**保管条件**

密閉のこと。不活性ガス下に貯蔵する。

### 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

**コンポーネント別作業環境測定パラメータ**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

### 8.2 曝露防止

**適切な技術的管理**

汚れた衣類は取り替えること。事前に皮膚を保護することが望ましい。本物質を扱った後は手を洗うこと。

**保護具**

**眼 / 顔面の保護**

NIOSH（US）またはEN 166（EU）などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。 保護眼鏡

**皮膚及び身体の保護具**

要

**身体の保護**

保護衣

**呼吸用保護具**

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

**環境暴露の制御**

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

| | |
|---|---|
| 外観 | 形状: 粘性のある色: 淡黄色 |
| 臭い | データなし |
| 臭いのしきい(閾)値 | データなし |
| pH | データなし |
| 融点 / 凝固点 | 融点 / 凝固点: -11.9 °C - OECD 試験ガイドライン 102 |

| | |
|---|---|
| 沸点，初留点及び沸騰範囲 | 282 °C at 1,013 hPa - OECD 試験ガイドライン 103 |
| 引火点 | 126 °C - 密閉式引火点試験 - 理事会規則 (EC) No. 440/2008,付属書, A.9 |
| 蒸発速度 | データなし |
| 可燃性（固体、気体） | データなし |
| 引火上限/下限または爆発限界 | データなし |
| 蒸気圧 | > 0.1 hPa at 20 °C - OECD 試験ガイドライン 104 |
| 蒸気密度 | データなし |
| 密度 | データなし |
| 比重 | 1.054 at 20 °C - OECD 試験ガイドライン 109 |
| 水溶性 | 5.5 grm/l at 20 °C - OECD 試験ガイドライン 105 |
| n-オクタノール / 水分配係数（log 値） | データなし |
| 自然発火温度 | 380 °Cat 1,013 hPa |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度 | 動粘度（動粘性率）: 5.5 mm2/s at 20 °C - OECD 試験ガイドライン 114粘度(粘性率): データなし |
| 爆発特性 | データなし |
| 酸化特性 | なし |
| 表面張力 | > 71.1 - < 72.6 mN/m at 19 °C<br>- OECD 試験ガイドライン 115 |

### 9.2 その他の安全情報

**表面張力**

> 71.1 - < 72.6 mN/m at 19 °C

- OECD 試験ガイドライン 115

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

### 10.4 避けるべき条件

強力な熱

### 10.5 混触危険物質

強酸化剤

### 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

# 11. 有害性情報

## 11.1 毒性情報

**急性毒性**

(OECD 試験ガイドライン 401)

吸入: データなし

(理事会規則 (EC) No. 440/2008,付属書, B.3)

LD50 経皮 - ウサギ - > 2,000 mg/kg

LD50 経口 - ラット - メス - 2,000 mg/kg

**皮膚腐食性 / 刺激性**

皮膚 - ウサギ

結果: 皮膚刺激なし - 4 h

(理事会規則 (EC) No. 440/2008,付属書, B.4)

**眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性**

結果: 眼への刺激なし

(理事会規則 (EC) No. 440/2008,付属書, B.5)

眼 - ウサギ

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

備考: (ECHA)

結果: 皮膚感作物質ではない

マキシマイゼーション試験 - モルモット

**生殖細胞変異原性**

データなし

**発がん性**

データなし

**生殖毒性**

データなし

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなし

**誤えん有害性**

データなし

## 11.2 追加情報

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

RTECS: VO5425000

# 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

**魚毒性**

半静止試験 LC50 - Danio rerio (ゼブラフィッシュ) - 1.34 mg/l - 96 h

(理事会規則 (EC) No. 440/2008,付属書, C.1)

**ミジンコ等の水生無脊**

半静止試験 EC50 - Daphnia magna (オオミジンコ) - 0.88 mg/l - 48 h

**椎動物に対する毒性**

(OECD 試験ガイドライン 202)

**藻類に対する毒性**

止水式試験 EC50 - Pseudokirchneriella subcapitata - 0.49 mg/l - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

止水式試験 最大無影響濃度 - Pseudokirchneriella subcapitata - 0.2 mg/l - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

### 12.2 残留性・分解性

**生分解性**

好気性 - 曝露時間 28 d

結果: 86 % - 易分解性。

(OECD 試験ガイドライン 301F)

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壌中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

### 12.6 内分泌かく乱性

データなし

### 12.7 他の有害影響

データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

**製品**

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID （陸上規制）: 3082　IMDG （海上規制）: 3082　IATA-DGR （航空規制）: 3082

### 14.2 国連輸送名

ADR/RID （陸上規制）: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Amyl
(Amyl salicylate)
IATA-DGR （航空規制）: Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (Amyl
salicylate)
IMDG （海上規制）: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
salicylate)

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID （陸上規制）: 9　IMDG （海上規制）: 9　IATA-DGR （航空規制）: 9

### 14.4 容器等級

ADR/RID （陸上規制）: III IMDG （海上規制）: III IATA-DGR （航空規制）: III

### 14.5 環境危険有害性

該当
ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR （航空規制）: 該当

### 14.6 特別の安全対策

### 14.7 混触危険物質

5 kg / L 以下で、危険物クラス 9 に該当しないパッケージ
詳細情報
強酸化剤

---

## 15. 適用法令

### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

**国内適用法令**

**消防法:**

第4類:引火性液体, 第三石油類, 危険等級III, 非水溶性液体

**毒物及び劇物取締法:**

非該当

**労働安全衛生法**

**特定化学物質障害予防規則:**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則:**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物:**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物:**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法:**

非該当

---

# 16. その他の情報

### 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA：国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

【2】化学物質審査規制法（化審法）https://www.env.go.jp

【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） https://www.chemicoco.env.go.jp

【4】NITE化学物質総合情報提供システム （NITE-CHRIP）https://www.nite.go.jp/

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

**免責事項:**
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。